【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-224561(P2008-224561A)
【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-038
【出願番号】特願2007-65999(P2007-65999)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　21/64　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　21/64　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
保持部材２５に保持された第１フィルタ２６は、７２０±１０ｎｍの波長域の蛍光F_2を通過させる一方、７８０±１０ｎｍの波長域の基準蛍光F_3は遮断する通過特性のものである。それと反対に第２フィルタ２７は、基準蛍光F_3を通過させる一方、蛍光F_2は遮断する通過特性のものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
蛍光検出するに当たっては、まずアクチュエータ２８が駆動されて、第２フィルタ２７が集光レンズ２４と向い合う位置に配される。次に誘電体ブロック２２に向けて光源７から波長λ_1＝６７０ｎｍの励起光８が照射されると、その励起光８の一部は誘電体ブロック２２と金属膜２０との界面に全反射条件を満たして入射し、該界面から同波長のエバネッセント波が染み出すようになる。そこで、１次抗体４に結合している蛍光色素３２がこのエバネッセント波に励起されて、ピーク波長λ_3＝７８０ｎｍ の基準蛍光F_3を発するようになる。